

BUNGAKUZA TSUSHIN 2024.3 Vol.775

- アトリエの会『アンドーラ』……………1~4
登場人物相関図
翻訳・長田紫乃からのメッセージ
演出・西本由香からのメッセージ
- 地方公演『五十四の瞳』……………5
- 本公演『アラビアンナイト』……………6~7
- アトリエ短信……………8

文学座通信

文学座3月アトリエの会

アンドーラ

作=マックス・フリッシュ
訳=長田紫乃
演出=西本由香

十二場からなる戯曲

3月11日(月)~26日(火) 信濃町 文学座アトリエ

相関図・キャスト

亭主



助川嘉隆

神父



細貝光司

医者



大原康裕

黒い国から来た
婦人



吉野実紗

教師



沢田冬樹

教師の妻



郡山冬果

(アンドリの里親)

兄 アンドリ



小石川桃子

妹 バブリー



渡邊真砂珠

兵士



采澤靖起

白痴



萩原亮介

ある人



武田知久

ユダヤ人選別官



稲岡良純

家具職人



横山祥二

若い職人



山岡隆之介



マックス・フリッシュ
作=Max Frisch (1911~1991)

劇作家、建築家。
同じくドイツ系スイス人作家に『貴婦人の来訪』のリードリヒ・デュレンマットがいる。フリッシュは小説『シュティラー』(1954年)で、露骨にスイスを攻撃した。「スイスの自由と称するもの、スイス人というもの、チューリヒの町並、その交通巡査、スイスの精神的不毛性などを……」。これが最初のベストセラーとなる。(邦題『ほくではない』中野孝次訳、1959年、新潮社)。
社会における個人の倫理的責任を問う一方、アイデンティティの模索などもテーマとした。
『日記、1946-49』(1950年)には、この戯曲の基となる「アンドラのユダヤ人」が所収されている。

アトリエ短信

■「9月アトリエの会」のタイトル決定！
「石を洗う」

永山智行 作 五戸真理枝 演出

◇ 9月7日(土)～19日(木) 文学座アトリエ

◇ 出演 寺田路恵、玉井碧、鶴澤秀行、

高橋ひろし、鈴木弘秋、太田しづか、

杉宮匡紀、森寧々

「第31回読売演劇大賞」結果発表

生田みゆきが優秀演出家賞受賞！

昨年一年間の演劇界の成果を顕彰する第31回読売演劇大賞の最終選考結果が2月2日付の読売新聞紙上で発表されました。

演出部の生田みゆきが、「占領の囚人たち」「屠殺人ブッチャー」(名取事務所)、「海戦2023」「理性的な変人たち」に於いて、戦場の住人たち、火の手が上がっている地域を扱って、冷静さを失わない演出のまなざしがある」と評価され、優秀演出家賞を受賞しました。

■映画「SENSEKI」(来春公開予定)

克蘭クイン・古河市内でオールロケ

古河藩の家老で、蘭学者・鷹見泉石の晩年を描いた映画「SENSEKI」が2月1日に克蘭クインしました。茨城県古河市出身の渡辺徹が生前、地元と同級生(市観光協会渡辺勉会長、針谷力市長)と構想を語り合っていた、その夢が「ホリプロ」、「文学座」の全面協力により、叶うことになりました。脚本は瀬戸口郁。出演は徹さんの妻・榊原郁恵さん、息子の裕太さん。文学座からは、泉石役のたかお鷹をはじめ、早坂直家、富沢亜古、中村彰男、高橋克明、今村俊一、林田一高、星智也、池田倫太郎、常住富大、日景温子、杉宮匡紀、森寧々、山岡隆之介、肥田野俊が出演します。

文学座支持会へのお誘い

グループユース
〈A・G・Y・B会員様〉入会特典

◆チケット先行予約

一般前売よりも前に、ご予約を承ります。

◆月刊会報「文学座通信」送付

毎月一回、文学座の公演予定、劇団員の活動状況などをお伝えする会報をお届けいたします。

◆本公演パンフレット贈呈

本公演パンフレットを劇場にて差し上げます。

◆会員証発行

◆オリジナルグッズ進呈

◆会員限定〈感謝祭〉へのお誘いなど(有料)

A 会員 年会費 継続：22,000円 新規：24,000円 …ご入会月から2024年12月まで
「本公演・3作」と「アトリエの会・2作」の合計5作品にご希望の日時で1回ご招待いたします。

→ G (グループ) 会員 お申し込み受付は 2024年 3/26までとなります

年会費 継続：20,000円 新規：22,000円 …ご入会月から2024年12月まで
5名様以上のグループでご入会くださればA会員と同じ特典で年会費は割引となります。

→ Y (ユース) 会員 30歳以下の方が対象です。

年会費 15,000円 …ご入会月から2024年12月まで
文学座が上演する計5作品にご希望の日時で1回ご招待いたします。

B 会員 年会費 9,000円 お申し込み受付は 2024年 3/26までとなります
文学座が上演する「アトリエの会」にご希望の日時で1回ご招待いたします。
文学座が上演する「本公演」は、ご希望の日時で1回、2割引でご覧いただけます。

「文学座通信」購読会員 年会費 1,500円 月刊会報1年分の購読料金(郵送費込)

詳しくは企画事業部 (TEL.03-3351-7265) まで お問い合わせはお気軽に ☎ 0120-481034

出演情報 ◎追加情報は文学座HPにて

★川辺邦弘、木場允視、宝意紗友莉、鈴木結里：『ハリー・ポッターと呪いの子』(J.K.ローリングオリジナルストーリー、ジャック・ソーンオリジナルストーリー・脚本、小田島恒志・小田島則子訳、ジョン・ティファニーオリジナルストーリー・演出) 2022年7月～2024年6月まで～TBS赤坂ACTシアター
★奥田一平：『月の岬』(松田正隆作、大河内直子演出) 2/23～3/3 東京芸術劇場[シアターウエスト]
★石橋徹郎：『花と龍』(火野葦平原作、東憲司脚本、鶴山仁演出) 2/23～3/3 俳優座劇場
★原康義：『今昔筑波幻影』(藤田傳作、山本隆世演出) 2/29～3/8 下高井戸HTSスタジオ
★廣田高志、木津誠之：『中村仲蔵～歌

舞伎王国 下剋上異聞～』(源孝志脚本、蓬萊竜太演出) 2/29～3/1 広島文化学園HBGホールほか
★横田栄司(ナレーション)：『オデッサ』(三谷幸喜作・演出) 3/2・3 Niterra日本特殊陶業市民会館[ビレッジホール](愛知)
★山森大輔：『インヘリタンス～継承～』(マシュー・ロペス作<E・M・フォスターの小説「ハワーズ・エンド」に着想を得る)、早船歌江子訳、熊林弘高演出) 3/2 森ノ宮ピロティホール(大阪)ほか
★亀田佳明：『パートタイマー・秋子』(永井愛作・演出) 3/2・3 兵庫県立芸術文化センターホール[阪急中ホール]、3/8 東ソーアリーナ(山形)、3/10 川西町フレンドリープラザ(山形)、3/13・14 オーバード・ホール(富山)、3/17 所沢市民文化センターミュージズ[マーキーホール]

★浅野雅博：音楽劇『母さん』(堀江安夫作、横山由和演出) 3/8～10 俳優座劇場、3/13～4/13 全国演鑑連(中国・関越ブロック)
★斉藤祐一：『クチナシと翁』(山田百次作・演出) 3/8～17 こまばアゴラ劇場
★林田一高：犬猫会 Vol.6.5リーディング『死と乙女』(アリエル・ドルフマン作、飯島みどり訳、水野玲子演出) 3/22～24 RAFT(中野)
★大滝寛、鈴木亜希子：『シングルファザーになりました。』(山谷典子作、藤井ごう演出) 3/27～31 座・高円寺1
★石森咲妃、夏八木映美子：『見よ、飛行機の高く飛べるを』(永井愛作、酒井菜月演出) 3/28～31 東京芸術劇場[シアターウエスト] ※3/31ライブ配信あり
★山崎美貴：『花に嵐』(高井浩子作・演出) 4/4～7 東京国立博物館[九条館]

㊟ 文学座通信のお届けはゆうメール(日本郵便)を使用しており、土日祝の配達はありません。そのため毎月10日頃を過ぎる場合があります。数日お待ちいただければ幸いです。